



H27 明石北高 Q&A

Q1 明石北は理系というイメージがあります。私は将来、文系学部への進学を希望していますが、大丈夫でしょうか？

A1 クラス編成では文系クラスと理系クラスが半々で、文系の生徒は少なくありません。北高から、難関といわれる大学の文系学部に進学した先輩がたくさんいて、これまでに培った受験指導のノウハウもあります。文系学部への進学希望者もしっかりサポートしていきます。

Q2 勉強と部活動の両立はできるのでしょうか？

A2 勉強と部活動の両立は、いつの時代も高校生にとって大きな問題です。1年生は9割以上の生徒が部活動に積極的に参加し、学習にも熱心に取り組む成果を上げています。質の高い文武両道を合言葉に生徒たちは日々頑張っています。



Q3 自然科学科はどのような特色があるのでしょうか？

A3 自然科学科は、理数の専門学科です。理数科という専門教育に関する教科を学習します。具体的には、「理数数学」、「理数化学」、「理数物理」などの科目があります。この他、明石北高校独自の科目として「科学英語」や「科学・技術・社会」などの学校設定科目があります。本校では平成22年度よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け、5年間の研究成果が評価され、さらに5年間の継続研究の指定を受けることができました。より専門性が高い授業や行事を展開しています。

Q4 進路希望はどうなっていますか？

A4 ほとんどの生徒が四年制大学への進学を希望しており、難関といわれている国公立大学を目指している人も大変多いです。また、短大や専門学校への進学希望者や公務員・就職を希望している人もいます。明石北高校では、各々の進路希望に沿った進路支援（補習・面談・HR指導・個別指導）をおこなっています。



このQ&Aに登場するノール君は、2007年に、当時の在校生が作成した北高のマスコットです。様々なパンフレットやリーフレットで活躍しています。

Q5 特徴のある、おもしろい授業はありますか？

A5 「科学・技術・社会」「科学英語」「自然科学探究」「発展音楽」などの学校設定科目、「理数数学」「理数物理」「フードデザイン」などの専門科目、総合的な学習の時間の「社会問題の探求」「ウエイトリフティング」といった講座があります。

Q6 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)は、学科だけの取り組みですか？

A6 SSHは、学科だけでなく明石北の全校的な取り組みです。アメリカ研修・東京研修・京都研修は、学科以外の生徒も参加しています。また、研究者の特別授業・科学講演会なども、全校生徒対象に実施しています。

Q7 塾に行かないと勉強についていくこと、また希望する大学に合格することは難しいですか。

A7 塾に行っている生徒も多いですが、学校での授業や補習を大切にして、家庭学習にしっかりと取り組んで合格した生徒も少なくありません。

Q8 在校生が選んだ「明石北の良いところ」を教えてください。

- A8 1位 お互いがんばることができる環境
 - 2位 部活や行事もしっかりと取り組み、盛り上がる
 - 3位 学食がおいしい
- がベスト3です。



(環境がすばらしいんだ)

Q9 この春から学区拡大となりましたが、どのような地域から通学していますか？

A9 新入生の約1割の生徒が、新しく学区となった播磨町・稲美町・加古川市・高砂市・小野市から通学しています。

Q10 明石北のことをもっと知りたいのですが？

A10 文化祭や体育大会などの学校行事は多くの地域の方に見学いただいています。学校行事の様子を、ホームページに随時掲載しています。

URL: <http://www.hyogo-c.ed.jp/~meihoku-hs/>

文化祭・体育大会は平日に開催しますので、中学生は見に来ることができません。

学校説明会(8月1日)・オープンハイスクール(11月4,5日)には是非参加してください。

